

ワンデイシェフ
 ランチ 11:30 ~ 14:00 (売切しだい終了) 喫茶 9:00 ~ 16:00 ※電話予約できます 0561-75-6650

月曜日 愛歩協力会 ボリュームいっぱいのランチ  ●ランチ 600 円 飲み物 200 円 (食後 100 円) ●カレー・パスタ 600 円	火曜日 キッチンよつば 自然農法・有機野菜中心の自然食ランチ  ●ランチ 650 円 飲み物 200 円 (食後 150 円) ●ケーキ 100 円	第1,3,5 水曜日 タンドリーバスルーム インド人シェフが作る本格カレー  ●ランチ 600 円 飲み物 200 円 (食後 100 円)
第2,4 水曜日 オールフォーユー 素材にこだわった薬膳スープのラーメン  ●ランチ 650 円 飲み物 200 円 (食後 150 円)	木曜日 キッチン絆 野菜中心のヘルシーランチ  ●ランチ 650 円 飲み物 200 円 (食後 100 円) ●モーニング 300 円	第1,2,5 金曜日 里まちカフェ めぐみえん 無農薬野菜と玄米を使った創作弁当  ●ランチ 650 円 飲み物 250 円 (食後 150 円) ●塩焼きそば 500 円 ●モーニング 300 円
第3,4 金曜日 優・食チャチャ 地産地消の食材中心 バランスのよいランチ  ●ランチ 600 円 飲み物 200 円 (食後 100 円) ●デザート 120 円	土曜日 名古屋学芸大学 Canteen 管理栄養学部の学生が作るランチ  ●ランチ 500 円 飲み物 200 円	第2 日曜日 日進絆子ども食堂 地域の子どもたちと大人たちの居場所  ●ランチ 高校生以下無料・大人 500 円 ●飲み物 200 円

市民サロンの催し情報

無料のお茶もご用意しています。いつでもお越しください! ※最新情報はウェブサイトをご覧ください、お問い合わせください

手作りの品・こだわりの逸品がお買い得! マーケット 10:00 ~ 16:00 (時間は出店者により異なる場合があります) 月 愛歩協力会 第3月 サロン Leaf 第4月 手づくりもん工房 火 スマイルハウス 水 フェアトレード 風の子 木 薔薇しかない花屋 赤池サークル会 (不定期) 第2・4金 雑貨屋 Knit.	市民のみなさんの力作を見に来て! ギャラリー 8:30 ~ 17:15 (最終日は 15:00 まで) 1月 未定 2/21(木)~2/28(木) 日進市市民協働課「志摩しましよ展」	おいしいランチと素敵な音楽で憩いのひとときを ランチコンサート 12:00 ~ 13:00 1/11(金) 森香 (ギター弾語り) 1/12(土) Yamanin (フォーク) 1/19(土) AKT48air (サクソ演奏) 1/28(月) Hoot who's who (フォーク) 3/9(土) 音楽配達人まざやん (ポップス) 3/16(土) OH-JINS (フォーク・ポップス)
---	---	---

日進市にぎわい交流館
 開館時間 サロン 8:30 ~ 17:15 / 会議室 8:30 ~ 22:00
 休館日 年末年始(12月28日~1月4日)
 〒470-0122 愛知県日進市蟹甲町中島 277-1



電話 **0561-75-6650**
 ファクス 0561-73-5810
 電子メール nigiwai@me.ccnw.ne.jp
 ウェブサイト <https://shimin-kouryu.net>

わいわい集える市民活動支援センター 日進市にぎわい交流館の情報マガジン

回覧
日進市にぎわい交流館
公式キャラクター
「わいわい」

にぎわい

NEWS

Vol. 17
 2018 年 冬号





みんなで作る! みんなが輝く!

市民参加の公共空間

—岩崎台・香久山福祉会館と歩んで15年—

〔特集〕市民活動団体インタビュー

NPO 法人 水晶山市民の会









岩崎台・香久山福祉会館
第14回 作品展
 毎年恒例の作品展です
 地域の方々の絵画・陶芸・書・写真・
 工芸・手芸などいろいろな作品を展示します
 日 時：2019 年 2/15 (金) ~ 2/17 (日)
 場 所：岩崎台・香久山福祉会館 集会室
 入場料：無料

子どもが小学生のころ、「福祉会館 で遊んでくるね」と言ってよく出かけていった。そう聞くと、安心して送り出すことができたのを思い出す。

日進市内に 6 か所ある福祉会館のうち、2003 年に開館した岩崎台・香久山福祉会館は、年間の利用者が約 66,000 人と最も多い。その会館と切っても切り離せないのが「NPO 法人水晶山市民の会」(以下、市民の会)だ。

会館建設の計画づくりを機に立ち上げ、現在は水曜と土曜の夜間、日曜・祝日の施設管理やいろいろな講座・イベントの企画運営を行っている、市民の会のみなさんにお話を聞いた。



毎年2月に開催する作品展には、会館の講座で作られたものをはじめ、多彩な作品が並ぶ。昨年は130人が出展し、500人が来場した。

人のつながりが生まれる場所

水晶山緑地のすぐ隣に建つ岩崎台・香久山福祉会館。内部にも木がふんだんに使われ、ぬくもりが感じられる。ここには囲碁やカラオケなどの趣味を楽しむ大人たちや、元気に遊ぶ子どもたちの姿がある。

「小さい頃にここで遊んでいた子どもが、大学合格や就職の報告に来てくれることがあります。大人になったなあ感慨深く思います」

福祉会館と市民の会の共催で企画運営する講座は、カルチャー・アート系のほか、子供向け・親子向けの講座が充実しているのが特徴だ。今年も、小学生体育教室、親子工作教室、親子バルーンアート、親子ミニシフォンケーキ作り、夏の夜のネイチャーゲーム、幼児への読み聞かせなど、いろいろな講座が開かれている。

「パステル画と書道の講座を受講した方たちが、同好会を作られたことがありました。私たちが企画した講座で、趣味を楽しむ人のつながりができたことは本当にうれしかったですね」

他にも、木工教室で作った巣箱を水晶山に設置したら、そこからシジュウカラが巣立っていったなんてこともあったそう。

さまざまな講座や 管理ボランティアの活動



①②③書道、シフォンケーキ作り、親子バルーンアート。会館を知ってもらうために始めた講座も、今ではなくてはならない市民の学習・交流の場となっている。④時間外は管理ボランティアが受付等の業務を担当。



会員募集しています！

NPO 法人 水晶山市民の会
TEL 090-4080-6037 (浅野)

(左) 創刊から111号を迎えた「水晶山通信」(隔月発行)。イベントの案内や活動記録が掲載されている。

(下) 思いを聞かせてくれた、市民の会の平出佳弘さんと加藤喜久子さん。掘りごたつ式の和室も、市民の声が活かされたものだという。



市民参加の建設計画

市民の会のはじまりは、2000年に始まった岩崎台・香久山福祉会館の建設計画。

基本計画を作る際のワークショップに40～70代の地域住民28人が集まり、世代を問わず気楽に交流できる会館を作ろうと、自分たちの思いをぶつけ合う議論を繰り返した。気がつけば日付が変わっていたこともあった。ワークショップは部屋ごとに開き、その回数のはべ100回以上にもなる。

「地域の人が集まれる場所にしたい、自分たちの意見が活かされた会館にしたいと、みんなすごい熱意とパワーがありましたね」

県内外のコミュニティ会館7か所も視察した。階段式の多目的ホールは「これいいね。とても見やすいし、普段の子どもたちの遊び場としてもいい」と金沢市民芸術村のホールを参考にした。

中高生も利用するだろうからと道行く中高生にアンケートを実施したり、「みんなで意見を出し合ったけれど、もっとたくさんの人に聞いてみよう」と、住民に向けた発表会を開催したりした。

試行錯誤しながら市民参加で基本計画を作ったことが、会館の現在につながっている。

よりよい運営のために

市民の会は、「全ての世代が一人でも気軽に行けて、生きることを楽しめる場所」となるよう、よりよい会館運営のために活動している。

「地域の要望が一番多かった『夜間と日曜日に利用したい』を実現しよう」と、市民の会の時間外管理ボランティアによる、時間外利用がオープンと同時に始まった。少ないときは10人ほどのボランティアで、休みなしの状態。それでも要望があるから、やめるわけにはいかなかったという。現在は19人が管理ボランティアとして活動し、昨年度は16,000人が時間外利用した。

15年前、市内の福祉会館はどれも夜間・日曜・祝日は閉館していたが、今では全館で時間外利用が可能になった。市民の会が先陣を切って、地域の声に応えようとしてきた象徴といえるだろう。

会館を利用しやすく心地良いものにしていくために、会館の清掃や植栽なども積極的に続け、福祉会館が実施する救命救急講習や防災訓練にも参加し、安全への備えもしてきた。

2004年には県の「第9回人にやさしい街づくり賞」を受賞。また岩倉市や春日井市など各地から視察があるなど、市民参加型の公共施設として高い評価を受けている。

市民と行政の協働をこれからも

地域住民が公共施設を利用するだけでなく、企画運営に関わっていくことで、より使いやすい工夫がなされたり、地域の人の活躍の場や顔の見えるつながりが生まれている。

なにより、「もっとこんなふうにしたいね」「こうしたらどうだろう?」と話し合い、思いを形にする、主体的に公共に関わるひとびとが育まれている。

市民の会メンバーや岩崎台・香久山福祉会館のスタッフが、市民参加の会館運営を続けてきた何よりの成果ではないだろうか。このような成功事例を参考に、市民と行政の協働によるまちづくりの取り組みがさらに増えてほしいと感じた。

活動を始めてから15年が経ち、会員は高齢者が増えてきている。「活動を継続していくためには、まずは自分たちの周りの若い人に『一緒にやらないか』と声をかけて誘ってみることだと思う」。

活動の楽しみや喜び、活動にかける思いを周りに伝えていくことは一緒に活動する仲間を増やし、次世代につないでいくための一歩だ。10年後、20年後、顔ぶれが変わっていても、地域の人が支えるあたたかい会館であり続けてほしい。

市民活動団体の イベント情報

えん じょいん
縁 JOIN ～地域とつながる交流会～
PTA・子ども会・自治会・老人クラブといった地域の団体と市民活動団体がつながるための交流会です。市民活動団体によるミニ講座も体験できます！

日 時：2019年1/20(日) 13:30～16:30
場 所：中央福祉センター 多機能室(南北)

参加費：100円

主 催：にぎわい交流館・場リスタ Next

TEL 0561-75-6650 にぎわい交流館

要申込

2018年度 日進市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金配分金事業

子育て支援再発見講座
子育て支援を基礎から学びたい人や、おさらいしたい人のための講座です(全6回)

日 時：2019年1/30(水) 10:30～12:30
①子育て家庭の現状と子育て支援について
2019年1/31(木) 10:30～12:30
②地域の子育て支援情報と支援者の役割

場 所：中央福祉センター 多機能室(北)

託 児：10人程度

主 催：NPO 法人ファミリーステーション Rin

TEL&FAX 0561-74-1080

受講料無料・要申込

第2回プロアクションカフェ
プロジェクトを考えている人と、それをサポートしたい人に分かれて対話し、プロジェクトを一歩前に進めるワークショップ

日 時：2019年2/17(日) 18:00～21:00

場 所：にぎわい交流館

定 員：12人

主 催：にぎわい交流館

TEL 0561-75-6650

E-mail nigiwai@me.ccnw.ne.jp

要申込

**暮らしのサポートセンター
ちょこっとステーション**

性別・年齢を問わず誰でも利用できる相互扶助(地域福祉)の仕組みです。介護保険でできないことや子育て・病氣療養中や高齢者などのお困りごとをサポートします。サポーターも同時募集！自分のできることで日常生活のちょこっとしたお手伝いをしてみませんか？

主 催：一般社団法人ハートフルサポートねっと日進支部

TEL 0561-72-5105 / 090-5628-0136 (織田・岸)

まずは電話でお問合せください



人権だより

第44号

<世界人権宣言70周年>

みんなで築こう 人権の世紀

回覧

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

人権入賞作品紹介

平成29年度
第45回人権を理解する作品コンクール

ポスターの部



最優秀賞

長久手市立市が洞小学校 1年
梅原 菜都 さん



入選

長久手市立市が洞小学校 2年
小嶋 菜々夏 さん



佳作

長久手市立南小学校 3年
両角 慶太 さん



佳作

東郷町立高嶺小学校 5年
成瀬 彩愛 さん

第70回 人権週間

12/4 ~ 12/10

国連は、昭和23年に世界人権宣言を採択したのを記念し、昭和25年(1950年)12月4日の第5回総会において、12月10日を「人権デー(Human Rights Day)」と定め、加盟国などに人権思想の啓発のための行事を実施するように呼び掛けています。

法務省の人権擁護機関では、昭和24年から毎年、12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、全国的に啓発運動を展開し、広く国民に人権尊重思想の普及行動を呼びかけています。

人権を守るということ

「人権を守る」ということは、その違いを理解し、尊重すること。
また、誰もが当たり前に幸福を追求し、素晴らしい人生を送れるようにすること。
そして、もし、そこに差別や偏見があるとしたら、それをなくしていくこと。

平成30年度人権啓発活動年間強調事項

- 子どもの人権を守ろう
とくに子どもに対する虐待、学校などにおけるいじめ、体罰をなくそう
- 男女共同参画社会を目指そう
- 高齢者の人権を尊重しよう
- 障害のある人の自立と社会参加を進めよう
- 同和問題に対する理解を深めよう
- インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- 拉致問題の解決を含めた北朝鮮当局の人権侵害問題に対する認識を深めよう
- 大震災に起因する偏見や差別から被災者の人権を守ろう
- 外国人の人権問題に対する理解を深めよう
- セクシャルマイノリティーに対する偏見や差別をなくそう



人権イメージキャラクター
人KENまもる君&あゆみちゃん

電話相談

相談時間 月曜～金曜日 午前8:30～午後5:15
土日祝日、平日の時間外は留守番電話です。

- ・子どもの人権110番 0120-007-110
- ・みんなの人権110番 0570-003-110
- ・女性の人権ホットライン 0570-070-810

手紙相談 子どもの人権SOSミニレター

メール相談 <http://www.jinken.go.jp/>
(パソコン・携帯電話・スマートフォン共通)

インターネット人権相談

検索



ひとりで
悩まずに
ご相談ください

(法務省人権擁護局・
全国人権擁護委員連合会)

通話
無料

今この世の中には、約二十人に一人が障害を持って生きている。私達のように障害を持っていない人は、障害者をちょっと怖い人、かわいそうな人、不幸な人と、自分達と障害者の間に距離をおいてしまう人が、ほとんどだろう。私も初めはそうだった。けれど今は違う。決して、かわいそうとは思わない。私達が、障害を持った人も、同じ一人の人間として見る方が良いのではないかと思う。

私が小学生の時仲良くしていた、足に障害のある友達がいた。彼女は毎日、車椅子生活を送っていた。夏の、クラスでのレクリエーション日に、ドッチボールをやる事になった。担任の先生は、彼女は車椅子だから無理だし、もしけがしたら危ないという理由で彼女を参加させなかった。決して先生に悪気があったわけではない。きっと、彼女のためにも思ったのだろう。けれど彼女は、すごく悔しそうだったのを覚えている。障害という物だけに目を奪われている私達も、彼女は危険だから参加しない方が良くないかと思っていたから、先生の意見に賛成だった。冬になり、大縄跳び大会があった。前のドッチボールの時に、参加しなかったから、大縄跳び大会にも当然、参加しないかと思っていた。しかし彼女は、強く参加を望んだ。縄を跳べなくても縄を回す事は出来る。それを先生に伝えて、彼女は参加す

心のバリアフリー

日進市立日進東中学校 二年
名倉 花菜さん

そんな彼女は、エレベーターのある中学校に行ってしまう、それぞれ別の中学校生活を送っていた。ある日、吹奏楽部のコンクールで、フルートを持ち、誰よりも自信に満ちた様子で吹く彼女の姿があった。私はその時、同情は一切なく、ただ驚いた。自分の夢をしっかりと見つけて、堂々とした彼女は、かっこよかった。障害があるから出来ない事があるという考えは、全く違う事を知らせてくれた。

そんな彼女は、エレベーターのある中学校に行ってしまう、それぞれ別の中学校生活を送っていた。ある日、吹奏楽部のコンクールで、フルートを持ち、誰よりも自信に満ちた様子で吹く彼女の姿があった。私はその時、同情は一切なく、ただ驚いた。自分の夢をしっかりと見つけて、堂々とした彼女は、かっこよかった。障害があるから出来ない事があるという考えは、全く違う事を知らせてくれた。

今私が通っている中学校にも、小学校から一緒に入った障害を持った友達がいる。家から中学校までは五十分はかかるのに、毎日しっかりと歩いて学校まで来ている。委員会活動が一緒になったが、その活動はかなり大変なのに、一生懸命やっている姿がある。小学校の頃よりも、一人で出来る事が増えていて、彼の努力のすばらしさに感動した。少しでもみんなと一緒に行動しようとするけど、違う行動になってしまう彼に対して、笑う人がいた。私は、とてもとても腹が立ち、今でも許せない。障害者に対して笑う事をやめてほしいだったのでなく、がんばって努力している一人の人間に対して笑う事をやめてほしいかったのだ。また、笑った人は一人ではなく、何人かいた。心のない人間が多くて、悲しくなった。

私が体験した事でもあったが、障害のない人は、障害を持っていてる人に対しての

勝手な思い込みがある。「障害者だから、出来ないだろう。」この考えが、行動に出て、逆に障害者を苦しめてしまっているのは、確かだ。「障害者は、能力が足りない。」という考え方ではなく、「私達にはない、私達と違った能力を持っている人。」という考え方はどうだろうか。少し、考える視点を変えるだけで、見方も大きく変わってくれると思う。また、こうした考え方が、障害者が自由に、気をつかう事もなく過ごしていけるための援助となるだろう。

私は、ある事に気付かされた。それは、障害をもっている人の方が、「障害」にとらわれず、何かをやりとげたり、続けたりする強さを持っていることだ。これは、私達障害のない人達の今までの考え方を壊し、「障害は不自由であっても、決して不幸ではない。」という事を証明してくれた。でもやはり、障害者は、一人で乗り越えられない事もあるだろう。そんな時に、手をそっと差し出してあげると、障害のない人と障害者の間の距離が、縮まる事につながっていくと思う。障害を持っている人を、「怖い」と思ってしまうのは、人間がよく知らなかったり、理解できないからだそう。そんな時は、障害だけに目を向けるのではなくて、私達と同じように、楽しい事が好きだし、話したり、遊んだり、笑ったりしたいという心に寄りそってあげて、心から、理解しようとする事が大切なのではないだろうか。その行動こそが、「心のバリアフリー」だろう。

私たち人権擁護委員はあなたの相談相手です。相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。（平成30年11月1日現在）

豊明市

豊明市役所秘書広報課
TEL. 0562-92-8360
第1・3火曜日
10:00～15:00

青木廣康 緒方誠子
木村吉男 五味一子

日進市

日進市役所市民協働課
TEL. 0561-73-3194
第3水曜日（要予約）
10:00～15:00

磯畑秀隆 佐藤正彦
丹羽元子 福和京子
山本真理子

長久手市

長久手市役所福祉課
TEL. 0561-56-0614
第3木曜日
13:30～16:30

青山克二 口野孝典
野崎スマ子 吉田 亘
渡邊 操

東郷町

東郷町役場くらし協働課
TEL. 0561-56-0727
第1水曜日
13:00～15:00

岡田恵利 小山富夫
近藤安恵 平松 茂

書道の部

佳作

日進市立梨の木小学校 六年
小芦 七海さん

六年
小芦 七海
親切

佳作

長久手市立北中学校 一年
高橋 亮太さん

中一
高橋 亮太
奉仕社会

標語の部

優秀賞

「友情は 見えない糸で つながれる」

日進市立南小学校 4年
牧 咲翔さん

「ありがとう 待っていたんだ あなたの手」

東郷町立諸輪小学校 6年
水野 堇さん

入選

「いっぱいほめて いっぱいわらおう」

長久手市立市が洞小学校 1年
倉田 和実さん

「たすけてと 言えないぼくに 気づいてよ」

長久手市立北小学校 2年
栗田 陸斗さん

「気づいてよ あなたの勇気を 求めてる」

日進市立東小学校 5年
星 葵さん

佳作

「なりたいな 人の気持ち が 分かる人」
日進市立赤池小学校 2年 土屋 ころろさん

「考え方 十人十色 それでいい」
日進市立梨の木小学校 5年 菱沼 駿亮さん

「にんげんは たすけあうから いきている」
日進市立南小学校 2年 大福 悠真さん

「つらい時 人の優しさ あたたかい」
豊明市立唐竹小学校 6年 河津 茉依さん

「ともだちを だいじにすると いいもち」
長久手市立北小学校 2年 蔭山 航人さん

「いじめると 笑顔と未来が きえていく」
長久手市立市が洞小学校 6年 和田 茉優さん

「君らしい やさしい気持ち 出してみて」
日進市立赤池小学校 3年 小出 青葉さん



愛知地区小中学校の皆さん
ご応募ありがとうございます
ありがとうございました。